

先端医療から福祉まで「生きる」を応援します

恵 Keiju 寿

Vol.129
地域の医療
特集号



『もしも』の時も、『いつも』の時も。
地域がつながる医療のかたち





『もしも』の時も、『いつも』の時も。 地域がつながる医療のかたち

地域医療支援病院とかかりつけ医のチーム医療があなたの健康を守ります

恵寿総合病院は能登地域の民間総合病院で唯一「地域医療支援病院」の認定を受けている病院です。

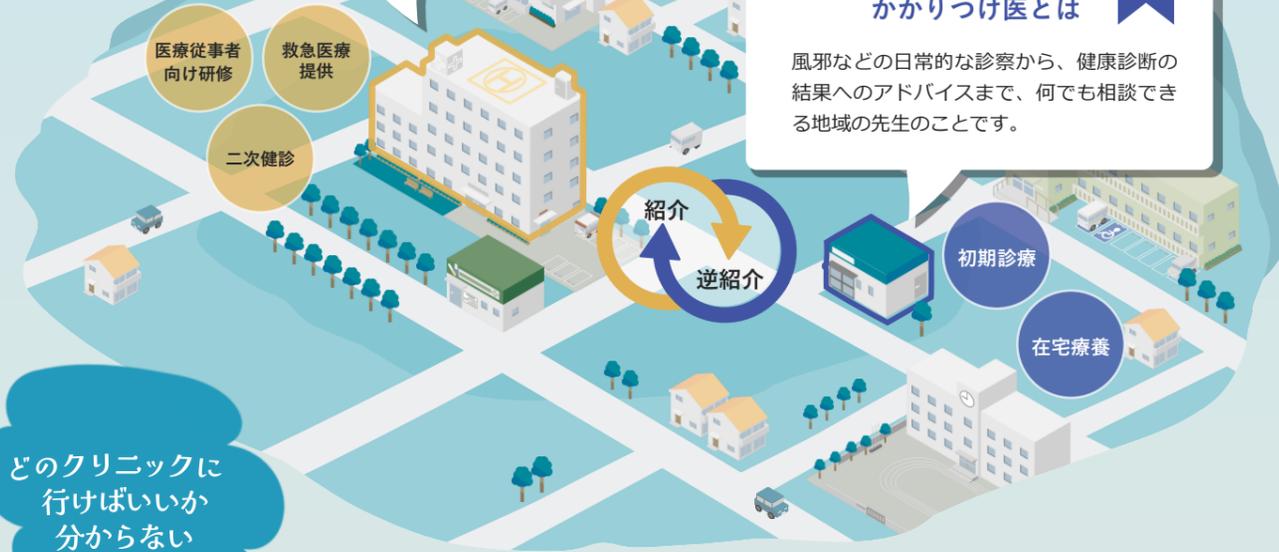
地域医療支援病院の役割は、地域のクリニックや診療所、病院の先生方と手を取り合い、一人の患者さんをチームで支えることです。「地域医療支援病院」と「かかりつけ医」お互いの得意分野を活かしてつながることで、最も安心で、最適な医療を届けることができます。今回の特集では、大切な連携の仕組みについてご紹介します。

地域医療支援病院とは

地域のクリニックや診療所、病院から紹介された患者さんの診療や24時間体制の救急医療、高度な医療機器の共同利用などを行う病院のことです。

かかりつけ医とは

風邪などの日常的な診察から、健康診断の結果へのアドバイスまで、何でも相談できる地域の先生のことです。



どのクリニックに行けばいいかわからない

まだ「かかりつけ医」をお持ちでない方へ！

恵寿総合病院では、地域の約100医療機関と密に連携し、一人の患者さんを地域全体で支える体制を整えています。あなたの通いやすい場所や相談内容に合わせて、最適な医療機関をご案内します。ぜひお気軽にご相談ください！



もし、軽い症状から専門治療まで、すべての患者さんが直接大病院を受診すると…

- 患者さんの負担：待ち時間の増加・追加費用の発生など
- 医療の質：本当に必要な治療の遅れ・1人あたりの診察時間短縮
- 地域への影響：救急搬送の受け入れ困難など



そこで重要になるのが…

普段の健康管理は、身近な「かかりつけ医」で。精密検査や高度な治療が必要なときは、「地域医療支援病院」で。

かかりつけ医のメリット



安心 日頃の体調の変化を把握しているため、的確な診断が可能

便利 待ち時間が少なく、仕事や家事の合間に身近な場所で受診

連携 精密検査や入院が必要なときは、適切な診療科を紹介

相談 診療科選びに迷った際、一番はじめに相談できる場所

- まずは身近なかかりつけ医へ
- 治療や検査が必要な場合 地域医療支援病院が専門医療を担う
- 治療後は再びかかりつけ医へ

恵寿総合病院の取り組みと実績を数字でご紹介します！

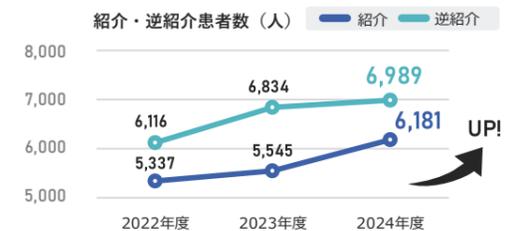
◆ 専門医療・救急医療の提供

能登地域では対応が難しい専門的検査や治療、救急患者さんの受け入れにも積極的に取り組んでいます。



◆ 地域連携の「見える化」

地域の診療所・病院からのご紹介を大切にし、診療・検査・入院・退院後のフォローまでを一貫して支援しています。





連携医療機関のご紹介

能登半島地震という困難の中、地域医療の砦として住民の暮らしを支え続ける能登北部の公立4病院。本特集では、各院が担う役割や震災時の軌跡、今後の展望を伺いました。※掲載は五十音順です

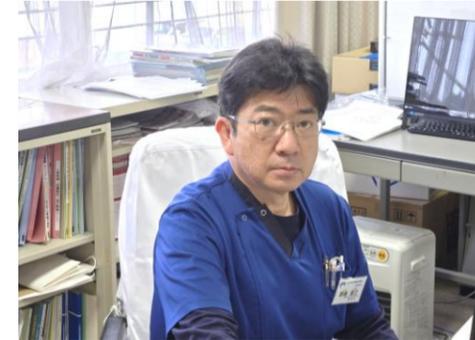


病院長 島中公志 先生 Message

公立穴水総合病院は、能登に暮らす方々の命と安心を守る地域医療の拠点です。厳しい環境の中でも、地域住民と医療関係者が支え合い、日々の診療から災害時まで力を尽くしてきました。信頼と温かさを大切に、これからも地域の皆様に必要とされる病院を目指し、職員一丸となって取り組んでまいりますので、能登の未来を共に守り続けていければと考えております。

〒927-0027
石川県鳳珠郡穴水町字川島タの8番地
TEL : 0768-52-0511 / FAX : 0768-52-0356

病床数：100床（一般病床）
公立穴水総合病院 ウェブサイトはこちら▶
<https://www.town.anamizu.lg.jp/site/hospital/>



病院長 野島直巳 先生 Message

能登半島地震から2年、奥能登豪雨から1年4か月が経ちました。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、平穏な日々を取り戻されますことを心よりお祈り申し上げます。また、発災から現在に至るまで多くの方々から継続した支援を頂き心より感謝を申し上げます。復興も道半ば、様々な課題が残されていますが、この危機を乗り越えた先には必ずさらなる発展があると信じております。

〒927-0495
石川県鳳珠郡能登町宇出津字97番地
TEL : 0768-62-1311 / FAX : 0768-62-3769

病床数：90床（一般病床）
公立宇出津総合病院 ウェブサイトはこちら▶
<https://www.town.noto.lg.jp/kakuka/ushitsu-hospital/index.html>



01 地域のなかで、病院として どのような役割を担っていますか？

当院は、町内唯一の総合病院として、地域の方々が安心して暮らしていけるように、基礎医療から外来・入院診療まで幅広い医療を提供しております。近隣の病院や地域のクリニック、施設などと密接な関係を築きながら、これまで以上に、病病連携、病診連携、病福連携をしっかりと行いながら、地域に必要な医療サービスを提供してまいります。また、医療提供だけでなく金沢医科大学との連携により、能登北部地域医療研究所も設置しており、地域医療研修や総合診療医・医学生の受け入れなど地域医療に関する研究・教育・研修の拠点となっております。

02 能登半島地震について、特に印象に残っている出来事は何ですか？

ライフラインが途絶されたことや、医療機器の故障により十分な医療体制を提供することが困難な中、多くの負傷者の受入れに加えて、大勢の避難者が詰めかけたことにより、院内は大変混乱した状況となりました。震災直後は、避難所や在宅での体調悪化、服薬中断、透析の継続など生活に直結した医療ニーズが一気に押し寄せました。職員自身も被災する中で病院に駆けつけ、診療や看護にあたりましたが、限られた人員での対応を余儀なくされる中で職員一人ひとりにかかる負担が増大しており、心身ともに疲弊していく状況となっております。



03 今後、地域の医療において どのような姿を目指していきますか？

地域住民に最も身近な医療機関として、急性期から、在宅医療まで切れ目のない医療を提供し、多職種・行政と連携し、予防医療や健康づくりにも取り組むとともに、災害時にも頼られる体制を整えます。また、次世代を担う医療人材の育成にも力を注ぎ、安心して暮らし続けられる地域づくりに向けて、地域の中核を担う病院として、今後も役割を果たしてまいります。

04 恵寿総合病院との連携において、 今後期待されることは何でしょうか？

当院としては、地域医療支援病院である恵寿総合病院に対し、高度・専門医療の確実な受け入れなど、能登北部地域医療を支える中核的な役割を今後も一層担っていただくことを期待しております。

01 地域のなかで、病院として どのような役割を担っていますか？

能登北部医療圏は2市2町それぞれに公立病院があり、それぞれの病院が地域における急性期医療を担っていますが、各病院で対応できない高度急性期患者は能登中部圏域や石川中央医療圏の医療機関と連携することで地域医療を守っています。地域住民の負担軽減を考慮し、都市圏から遠く離れていても可能な限り格差のない医療の提供することが使命であると考えています。

02 能登半島地震について、特に印象に残っている出来事は何ですか？

被災して大変だったのは、断水で特にトイレ等が使用できなかったこと、エレベーターが故障し患者の移動や食事の運搬が大変だったことでした。1月19日に病棟の一部が通水し同日にエレベーターの修繕も完了しました。大変でかつ残念だったのは職員のモチベーションの低下でした。被災前の状態に戻るにはインフラの復旧以上に時間がかかりました。



03 今後、地域の医療において どのような姿を目指していきますか？

能登北部圏域には新病院の計画がありますが、新病院が完成するまでは当院が現在提供している医療の質及び量をできるだけ落とさず経営できればと考えています。将来的には訪問診療や訪問看護並びに訪問リハビリを強化し、現時点では試験的にしか行っていない遠隔診療も本格的に実施し、地域住民に寄り添い続ける病院でありたいと考えています。

04 恵寿総合病院との連携において、 今後期待されることは何でしょうか？

患者紹介やJoinシステムの件でお世話になっております。今後もよろしくお願いたします。当院は外科の医師が減員となりましたので患者紹介数が増えると予想されます。これまで以上に連携を強化したいと考えております。また、当院を退院する患者の受け入れにつきましても董仙会の関連施設において、これまで以上に連携できればと考えています。





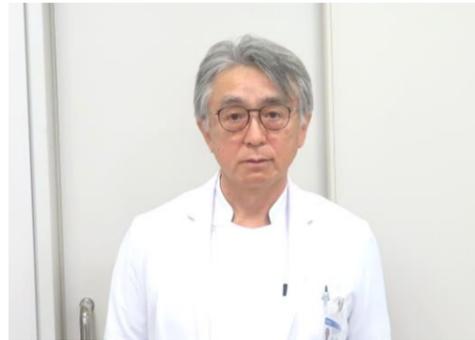
連携医療機関のご紹介

「完結する医療」から「つながる医療」へ

地域医療支援病院は、一つの病院だけで医療を完結させる存在ではありません。

地域の診療所、病院、介護・福祉施設と連携しながら、地域全体で患者さんを支える医療を実現することが使命です。

これからも恵寿総合病院は、「この地域に住んでよかった」と感じていただける医療を目指してまいります。



病院長 浜田 秀剛 先生

Message

地域の診療所や介護施設のご協力もいただきながら、医療機関として地域住民の皆さまが少しでも安心して暮らせるように、今後とも貢献していきたいと考えています。
そのためにも、当院の地域医療を共に支えていただける仲間を広く募っていますので、ご協力いただける方は是非お問い合わせください。

〒927-1213

石川県珠洲市野々江町ユ部1番地1

TEL : 0768-82-1181 / FAX : 0768-82-1191

病床数：115床（一般病床108、結核病床7）

珠洲市総合病院 ウェブサイトはこちら▶

<https://www.city.suzu.lg.jp/site/suzuhp/>



院長 品川 誠 先生

Message

地域の皆さまには、常に当院が皆さまの健康に寄り添う存在であり続けたいと考えています。今後も信頼される病院を目指し、職員一同、誠心誠意取り組んでまいりますので、健康相談や検診など、どうぞお気軽にご利用ください。

また医療関係者の皆さまと、今後とも情報共有や連携を重ねながら、共に地域医療を守っていきたくと考えております。

〒928-0024

石川県輪島市山岸町は1-1

TEL : 0768-22-2222 / FAX : 0768-23-0634

病床数：147床（一般病床143、感染症病床4）

市立輪島病院 ウェブサイトはこちら▶

<https://www.city.wajima.ishikawa.jp/wajimahp/>



01 地域のなかで、病院として どのような役割を担っていますか？

珠洲市で唯一、入院機能のある公立病院として、限られた医療資源ではありますが、小児から高齢者まで可能な限り断らない医療の提供を目指しています。



02 能登半島地震について、特に印象に残っている出来事は何ですか？

道路の寸断と停電及び断水により珠洲市全体が孤立した状況のなかで、唯一の救急医療機関として、当日勤務中であつた職員と、困難な状況のなかで参集した限られた少数の職員によって救急患者の受入れと治療を行いました。また、当院が津波一時避難所でもあつたことから避難者も受け入れることとなりました。

市内全体の断水が長期に及んだことにより、透析や手術の再開など医療提供体制の復旧や職員の生活維持においても困難な状況が続いたことが、特に大変でした。



03 今後、地域の医療において どのような姿を目指していきますか？

未曾有の災害により人口減少が加速している中でも、地域住民が安心して住み続けることができるよう、地域の中核病院として求められる医療ニーズを把握し必要な医療を提供していきたいと考えています。

2025年5月に開設した歯科口腔外科をはじめ、地域住民から必要とされる医療・介護をできるかぎり構築して提供していきたいと思ひます。

04 恵寿総合病院との連携において、 今後期待されることは何でしょうか？

能登北部医療圏の医療を支える2次医療機関として、これまでも診療支援をはじめとさまざまなご支援をいただひており、引き続きご支援、ご協力をお願いしたいと考えております。

01 地域のなかで、病院として どのような役割を担っていますか？

当院は能登北部医療圏において147床を有する、輪島市内唯一の総合病院として、救急告示病院・災害拠点病院の役割を担ひ、急性期医療から在宅療養支援に至るまで幅広い医療を提供しています。地域包括ケア病棟や訪問診療・訪問看護を通じて、地域包括ケアシステムの医療分野の中核として、保健・福祉と連携しながら切れ目のない支援に努めています。

02 能登半島地震について、特に印象に残っている出来事は何ですか？

地震発生時、当院も被災する中で多数の負傷者が搬送され、限られた人員と資機材でトリアージを行いながら対応にあたりました。負傷者に加え避難者も詰め掛け、院内は大変混乱した状況となりました。さらに、上水・下水などのライフラインが断絶し、入院患者や透析患者を他院へ転院せざるを得なかつたことは、特に強く印象に残っています。こうした経験を通じ、災害時にも医療機能を維持できる、災害に強い病院施設であることの重要性をあらためて実感しました。



03 今後、地域の医療において どのような姿を目指していきますか？

現在、奥能登地域では公立4病院の再編が計画されています。これまで公立4病院が担ってきた入院機能を集約し、能登空港周辺に整備される新病院において「断らない救急」の実現を目指していきます。その中で市立輪島病院はサテライト病院として位置づけられ、外来診療や透析などを通じて、地域住民の皆さまの日常的な医療を確実に支える役割を担っていきたくと考えています。

04 恵寿総合病院との連携において、 今後期待されることは何でしょうか？

恵寿総合病院には、能登地域の中核病院として、今後も超急性期医療や専門診療、相互紹介の面で地域医療を支えていただくとともに、これまで培われてきた医療の知見やノウハウを後方支援や勉強会などを通じて共有していただくことで、能登地区の住民が安心して暮らし続けることができる医療体制の充実につながることを期待しています。

あなたの元へ出張！

地域向け出前講座

恵寿総合病院では「地域全体の健康」を目指し、病院外で受講可能なさまざまな健康関連の講座を準備しております。

お友達やお知り合い、町内会など、みなさんと健康について学んでみませんか？



恵寿スタッフが選ぶ！おすすめ講座のご紹介

おすすめ講座 01



けいじゅ救急搬送サービスと学ぶ
「急変時の対応」

おすすめ講座 02



無限につながる支援の輪
「インフィニティリング」ってなに？

おすすめ講座 03



介護の合間にひと息を。
レスパイト入院ってなに？

その他、「音楽健康セッションで心もからだも健康に」「Foot活！出前授業」など多数の人気講座を取り揃えております！お気軽にお問い合わせください

全講座のご紹介

出前講座に関するお問い合わせ・講座申し込み

恵寿総合病院 地域連携課

TEL:0767-52-2300

QRコードからご確認いただけます



オンライン開催が可能な講座もあります！

◀ 詳細はこちら

広報誌「恵寿」

読者アンケート実施中！

回答期間：2026.3/1(日) - 5/31(日)

最後までご覧いただきありがとうございます。

広報誌「恵寿」をより良いものにするため、簡単なアンケートへのご協力をお願いします！
「ここが面白かった！」「こんなことが知りたい」など、あなたの声をぜひ聞かせてください。



けいじゅヘルスケアシステムとは

社会医療法人財団 董仙会と社会福祉法人 徳充会の総称です。
“先端医療から福祉まで「生きる」を応援します”をミッションに掲げ、境目のない総合的なサービスを提供します。

Instagram



LINE



過去の広報誌



2026年3月発行

発行：けいじゅヘルスケアシステム
〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地
Tel：0767-52-3211（代表）